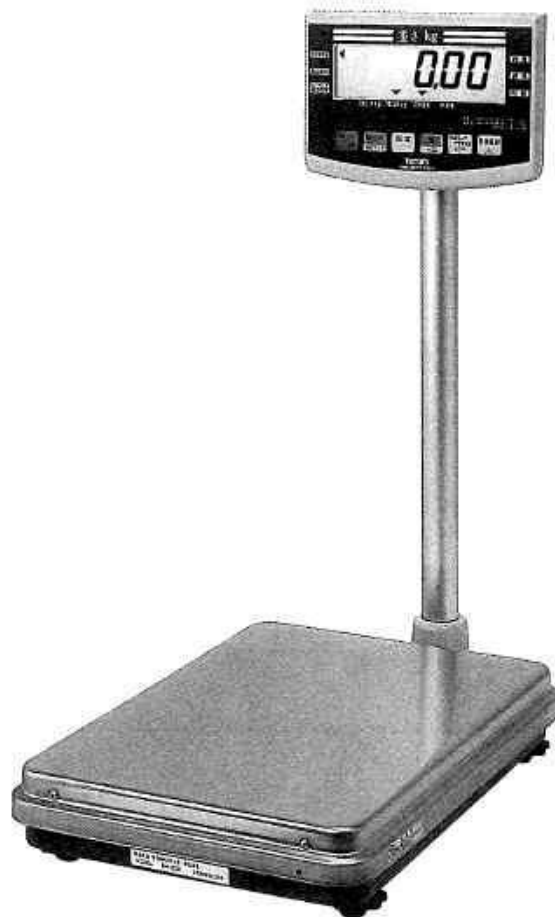


**Yamato**

# デジタル台はかりDP-6100GP

## 取扱説明書



信頼・技術・創造  
**YAMATO** 大和製衡株式会社

(いつでも使用できるように大切に保管して下さい。)

---

## 目 次

	ページ
● 始業点検・保管・廃棄について.....	1
● このような機能があります.....	1
● 各部の名称.....	2
● 安全にお使いいただくために.....	3～4
● ご使用前の準備.....	5
● 指示計の角度を変える方法.....	6
● 表示部及び、キー操作部について.....	6
● 計量の方法.....	7
● 風袋引の方法.....	8～10
◇ ワンタッチ風袋引.....	8
◇ 置数式風袋引.....	9
◇ 風袋設定値を取り消す方法.....	10
● 目量（最小表示量）の切替の方法.....	11
● 正味重量と総重量表示切替の方法.....	12
● 上限値及び、下限値の設定について.....	13～19
◇ 下限値の設定.....	14
◇ 上限値の設定.....	15～16
◇ 上限値及び、下限値の確認又は変更.....	16～17
◇ 上限値及び、下限値の取り消し.....	17
● エラー表示について.....	20
● 仕 様.....	21～23

## 始業点検のお願い

計量法では、適正な計量の実施を求められています。  
始業時の点検・重量チェックの実施をお願いします。

## 保管場所について

- ①高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- ②本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。







## 廃棄について

本はかりを廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。  
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。

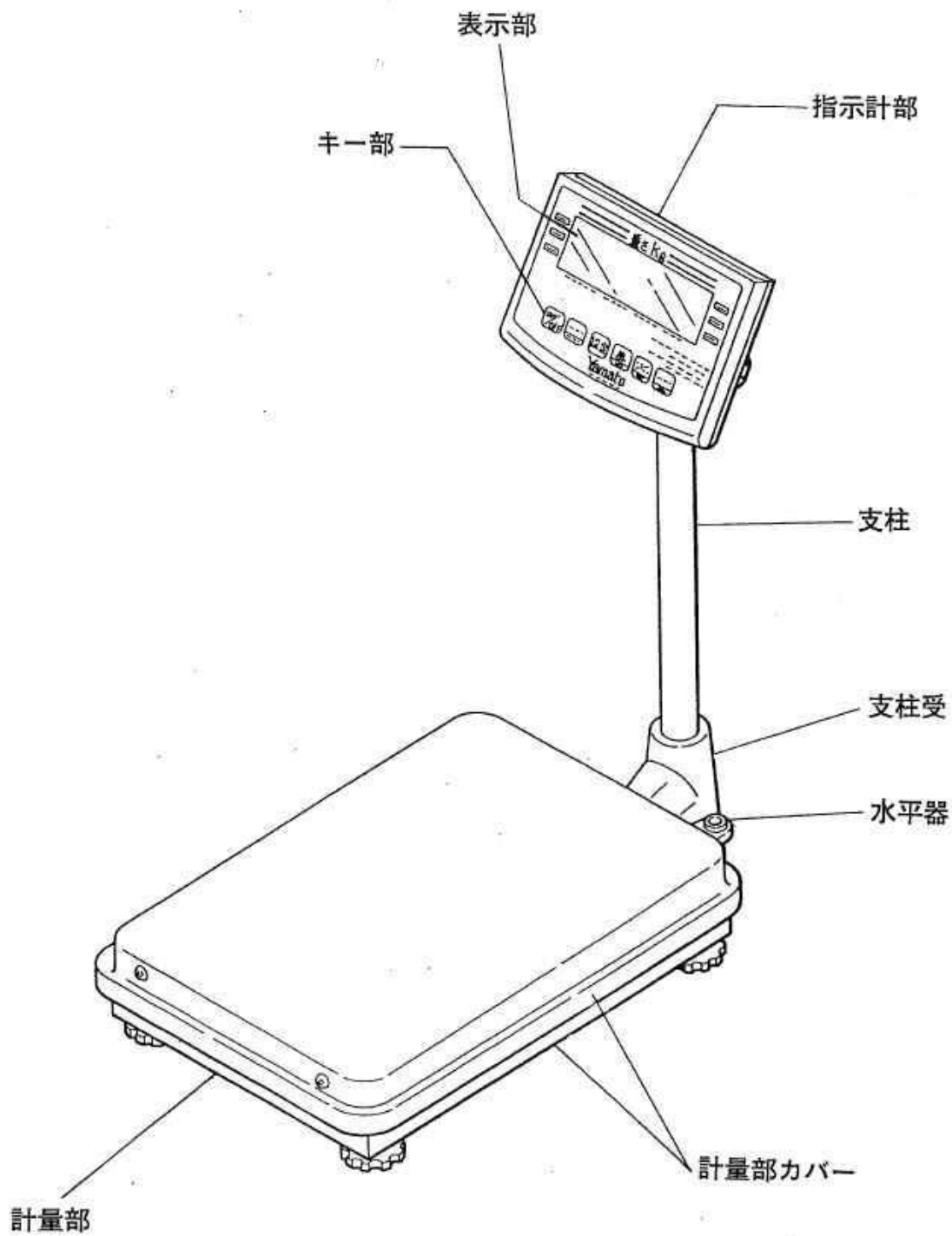
## このような機能があります

DP-6100GPは、簡単な操作で効率的な計量作業が行えます。作業の目的に応じてお役立てください。

## 標準仕様のみで

機 能	方 法	備 考	ページ
風袋引機能	1  キーを使って、ワンタッチで行えます。		8
計量物又は、計量物を入れる容器の重さを0表示にしたい時	 キー  キー、矢印キー（兼用キー）を使って風袋量（容器重量）の設定が行えます。	予め容器重量の測定が必要です。	9
目量切替機能 計量する物に応じて目量を選択したい時	1  キーを押すことにより二種類の目量（最小表示量）の選択が行えます。	1/6000と1/3000の切替が行えます。	11
正味重量、総重量表示切替機能 風袋引を行った場合に、総重量と正味重量が知りたい時。	1  キーを押すことにより表示の切替が行えます。		12
上下限判別機能 目標重量に対して過量、適量、不足であるかを知りたい時。	1  キー、矢印キー（兼用キー）を使って上限値、下限値の設定を行うと、目標重量に対して過量、適量、不足であるかが判ります。		13

各部の名称



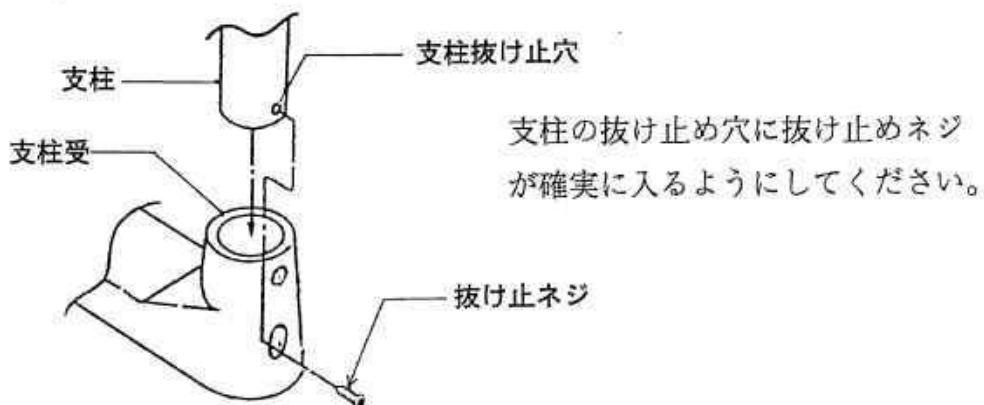
## 安全にお使いいただくために

次の点を厳守していただき安全にご使用ください。

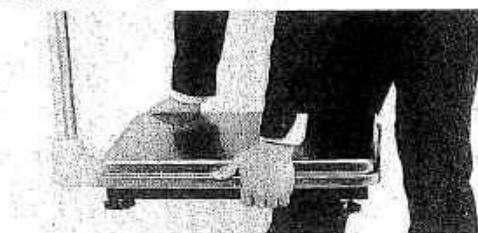
### 危険

DP-6100GPは次のような使い方をしますと、爆発や、感電、転倒、落下等により負傷する恐れがあり、危険ですので絶対におやめください。

1. 防爆機能を備えていません。引火性ガス、爆発性ガスの雰囲気中で使用すると火災や爆発の恐れがあります。
2. 水がかかる環境ではかりを使用される場合は、感電や故障の恐れがあるため、オプションの「ACアダプタ」及び「ジャーナルプリンタ」PS-507」を取り付けて使用しないでください。
3. はかりに乗って体重等をはかる場合、はかりの中央部に乗ってください。極端に端の方に乗ったり、支柱にもたれかかったりすると転倒する恐れがあります。
4. 支柱の取付時は支柱の抜け止めを下図のように確実に行ってください。この支柱抜け止めが確実にないと支柱が抜けて思わぬ事故になる恐れがあります。



5. はかりの持ち運びや移動の際は必ず計量部を持って持ち上げてください。支柱や指示計部を持って持ち上げないでください。支柱や指示計部が抜けてはかりが人の足の上に落下し負傷する恐れがあります。



6. 誤って表示管を破損した場合、液晶表示管内部から流れ出た液体は毒性がありますから絶対口に入れないでください。



## 注意

DP-6100GPは次の点に注意してご使用ください。もし守っていただけない場合は正しい計量ができなかったり、はかりが狂ったり故障の原因になりますので充分ご注意願います。

1. 直射日光の当たる場所や冷房、暖房機の風が直接当たる場所には設置しないでください。正しい計量ができない場合があります。
2. 振動を発生する機器類の近くには設置しないでください。正しい計量ができない場合があります。
3. 丈夫な床の上に設置してください。たわんだり、へこんだりするような床に設置すると、正しい計量ができない場合があります。
4. 使用環境は-5℃~35℃の場所です。これ以外の環境では使用しないでください。正しい計量できません。
5. はかりに水をかけたり、湿気の多い所に設置しないでください。故障の原因になります。
6. はかりの上に物を落としたり、はかりにとび乗ったり、はかりを落下させたり強い衝撃を与えないでください。はかりが狂うことがあります。
7. 電池の交換の際は4本とも新しい電池に交換してください。古い電池が混じると液漏れしたり、極端に電池の寿命が短くなります。
8. 電池の交換の際は極性（+、-）を表示の通りに装着してください。間違った場合は、故障の原因になります。
9. 長期間（約1カ月以上）使用しない場合は電池を外してください。電池が液漏れし指示計内部が腐食する場合があります。
10. はかりが汚れた場合は柔らかな布で拭いてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少しつけかたく絞った布で拭いてください。シンナーや薬品は使用しないでください。変色する恐れがあります。
11. 計量部のカバーは絶対に外さないでください。内部をいじると故障の原因になるばかりではなく、内部部品のエッジで、手等を負傷する危険性があります。
12. 指示計内部の封印シールを剥さないでください、もし誤って剥した時は販売店まで連絡してください。
13. 指示計内部のカバーを外したり、内部を分解しないでください。故障の原因になります。

## ご使用前の準備

- 第1図のように支柱を取り付けてください。
- 第2図のように乾電池（単1、4個）を入れてください。  
この時乾電池の極性（+ -）に注意してください。  
もし異状な表示が出た場合は電池を入れ直してください。

ACアダプタ、またはACジャックを抜き差しした時、万一表示の点滅が始まらない場合は、リセットボタンを押してください。

1). リセットボタンは指示計内部の表示部側にあり、先端を押すとリセットされます（リセット操作）。

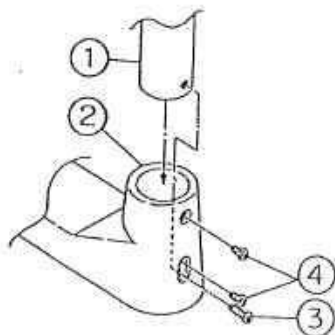
★ リセットボタンの先端は、容易に触れられないようにするために、カバーから大きくは突出していません。

従って、リセットボタンを押しながら、その周辺のカバーをも少し押さえるようにすると、確実なリセット操作ができます。

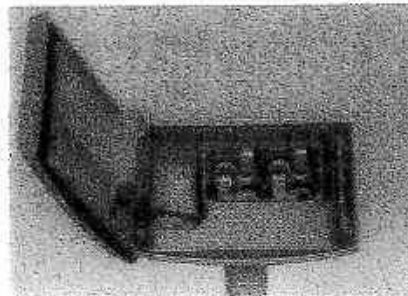
リセット操作が確実に行われたとき、はかりは初期状態に戻り、全ての表示が消灯します。

- 第3図のように水平を合わせてください。  
水平器の気泡が中心円の中央になるように水平調節脚を回してガタのないように合わせてください。

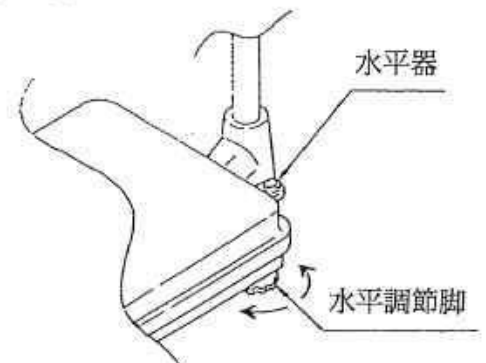
第1図



第2図

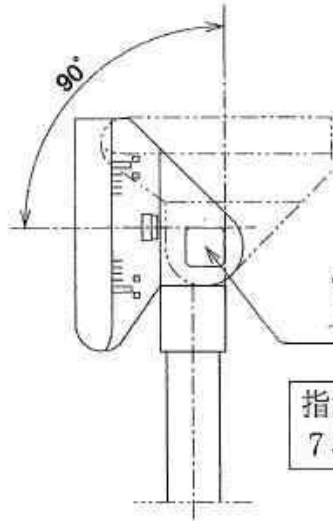


第3図



1. 支柱①を支柱取付台②に差し込んでください。
2. ネジ③を支柱①の抜け止め用穴に合わせて締め込んでください。
3. ネジ④を締め込んで支柱①を固定してください。

## 指示計の角度を変える方法



この部分を押しながら指示計を上下に回転させてください。

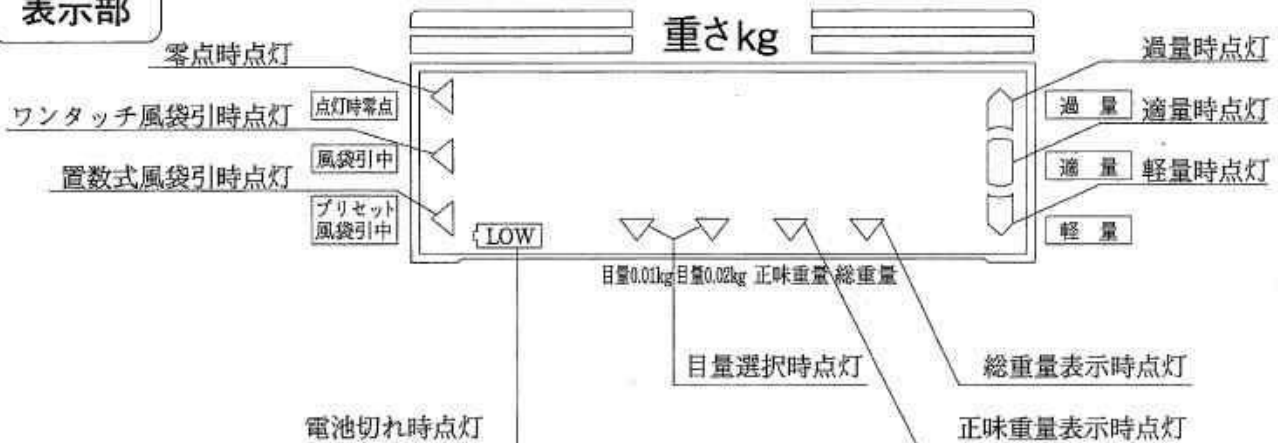
指示計の角度は90°の範囲内で7段階に調整できます。

## 表示部及びキー操作部について

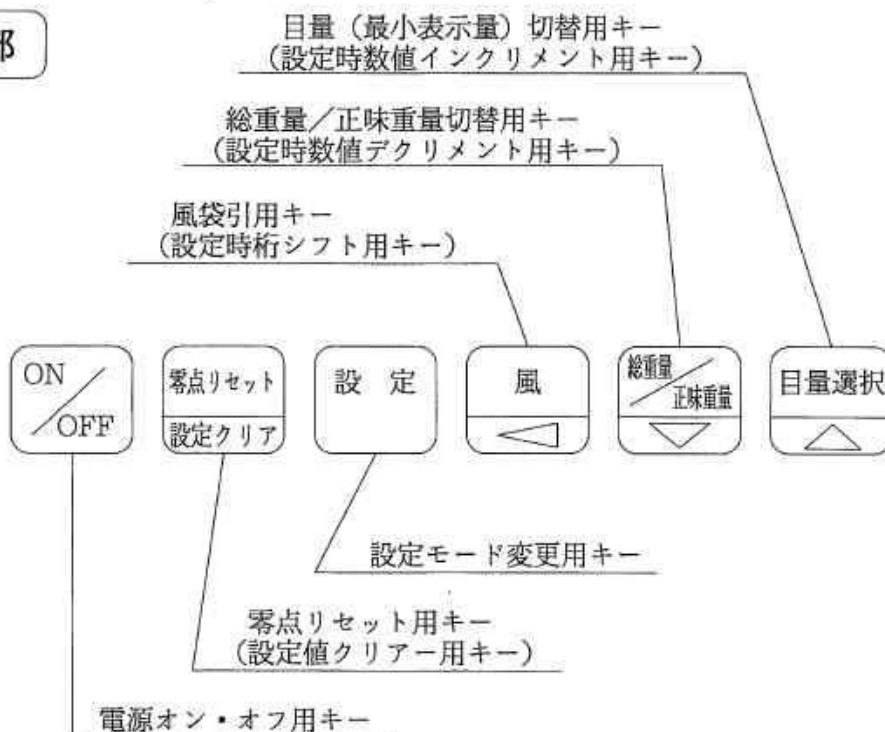
DP-6100GPの表示部、キー操作部は下図のようになっています。

表示内容やキースイッチの操作方法等は、操作手順の項をご覧ください。

### 表示部



### キー操作部





## 計量の方法

本書では、目量0.01kg、0.02kg、0.05kgの時の小数点位置で表示内容を説明しています。


目量0.005kgの時は小数点以下3桁の表示になります。



	操作手順	表示内容	備考
1	<p>電源オン</p>  キーを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての表示管が点滅したあと、0.00表示になります。</li> </ul> 	<p>電源オン操作後下記の表示が出た場合は20ページのエラー表示についてをご覧ください。</p> <p style="text-align: center;">             ---H              ---L           </p>

\* 風袋引きを行う場合は、8～10ページ **風袋引きの方法** をご覧ください。

\* 上限値及び、下限値を設定する場合は、13～19ページ

**上限値及び下限値の設定について** をご覧ください。


2	<p>計量開始</p> <p>はかりの計量台に計量物を載せてください。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>計量物の重さを表示します。(表示は計量物の重さが20kgの場合です)</li> </ul>	<p>計量物を載せた後下記の表示が出た場合は、はかりの計量範囲を超えていますので、計量物を取除きはかりの使用範囲内で使用してください。</p> <p style="text-align: center;">--OF--</p>
---	---	---	---








3	<p>電源オフ</p>  キーを押してください。		<p>約20分間計量を行わない場合にはオートオフ機能が働き、自動的に電源が切れます。</p>
---	---	--	--

## 風袋引の方法


計量物を入れる容器の重さを、0表示させるための風袋引操作を二通りの方法で行うことができますので、作業に適した方法でご使用ください。














### 1. ワンタッチ風袋引

 キーのみで行う、簡単な風袋引の方法です。






	操作手順	表示内容	備考
1	容器をはかりに載せてください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 容器の重さ（例えば0.5kg）を表示します。</li> </ul>	
2	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 表示は0.00表示となり、風袋引中サインが点灯します。</li> </ul>	
3	計量作業開始 計量物を載せてください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 計量物の正味重量を表示します。（表示は計量物の重さが20kgの場合です）</li> </ul>	
4	風袋引を取り消す方法。 容器を載せ台から取り除いてください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 容器の重さをマイナス表示します。</li> </ul>	
5	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 表示は0.00となり風袋引中サインが消えます。</li> </ul>	


## 2. 置数式風袋引

風袋値を  キーを使って設定する方法です。  
 予め風袋重量の測定が必要です。

	操作手順	表示内容	備考
1	風袋設定モードにします。   キーを押しながら  キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリセット風袋引中サインが点滅します。</li> <li>• 数字表示の下の桁が点滅します。</li> </ul>	
2	風袋値を設定します（例えば0.5kgの風袋引をする場合）   キーを押して設定桁を変更してください。	 <p> キーを1回押す毎に設定する桁が上の方へ一桁ずつ移動します。</p>	
3	 キーを5回押すか、又は  キーを5回押してください。	 <p> キーを1回押す毎に設定数値が1づつ上がり、5が設定されます。                      又は、   キーを1回押す毎に設定数値が1づつ下がり、5が設定されます。</p>	
4	計量モードへ戻します。   キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• プリセット風袋引中サインが点滅します。</li> <li>• 置数式風袋引の設定ができました。</li> </ul>	

風袋を載せて計量作業を開始します。

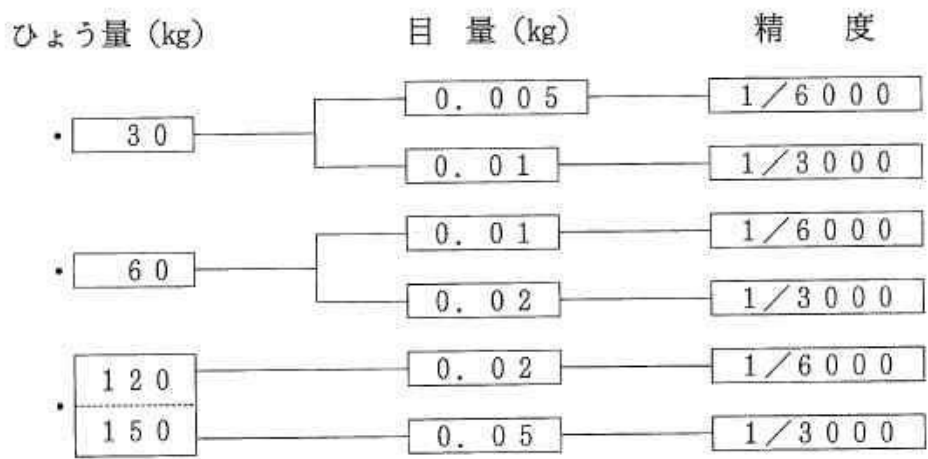
	操作手順	表示内容	備考
5	容器をはかりに載せてください。	 <p>・表示は0.00となります。</p>	
6	計量作業開始 計量物を載せてください。	 <p>・計量物の正味重量を表示します。</p>	
7	風袋引を取り消す方法。 容器を載せ台から取り除いてください。	 <p>・容器の重さをマイナス表示します。</p>	
8	 キーを押してください。	 <p>・表示は0.00となりプリセット風袋引中サインが消えます。</p>	

前記説明では  キーを使用して置数式風袋設定値の取り消しを行ないましたが、次の操作でも取り消すことができます。

1	風袋設定モードにします。  キーを押しながら  キーを押してください。	 <p>・プリセット風袋引中サインが点滅します。 ・前回に設定した風袋値を表示します。</p>	設定値を変更する場合はここで変更ができます。  <b>注意</b> 零点でのみ変更が可能です。
2	設定値をクリアします。  キーを押してください。	 <p>・設定値がクリアされ0.00の表示になります。</p>	
3	計量モードへ戻します。  キーを押してください。		計量モードに戻ります。







## 目量（最小表示量）切替の方法

このはかりは計量物に応じた最適な条件で作業をしていただくために、はかりの目量（最小表示量）を切替えることができます。



注意、ひょう量120kg/150kgのみ目量とひょう量が同時に切替わります。

例えば、目量0.02kgと0.05kgを切替える場合。

	操作手順	表示内容	備 考
1	目量0.02kgが選択されている場合。	 <p>• 目量0.02kgのサインが点灯しています。</p>	電源をオンにすると、前回選択された目量のサインが点灯します。
2	目量0.05kgに切替える場合。  キーを押してください。	 <p>• 目量0.05kgのサインが点灯します。</p>	
3	目量0.02kgに切替える場合。  キーを押してください。	 <p>• 目量0.02kgのサインが点灯します。</p>	 キーを1回押す毎に、目量が交互に切替わります。

### 注意

置数式風袋引操作は各目量毎に行ってください。











例えば、目量0.02kgの時に風袋引を行い、その後目量を0.05kgに切替えた場合、その目量でもう一度置数式袋引を行ってください。

## 正味重量、総重量表示切替の方法

風袋引きを行ってばかりを使用している時に、正味重量+風袋重量の総重量の表示を見たい場合に利用してください。

例えば、20kgの容器を風袋引し、80kgの品物を載せた後総重量を表示させる場合。

注 意、総重量表示中は風袋引はできません。





	操作手順	表示内容	備考
1	容器をはかりに載せてください。	 <p>• 容器の重さを表示します。</p>	
2	 キーを押してください。	 <p>• 表示は0.00表示となり、風袋引中サインが点灯します。</p>	
3	計量物を載せてください。	 <p>• 計量物の正味重量を表示します。</p>	
4	 キーを押してください。	 <p>• 総重量のサインが点灯し、総重量を表示します。</p>	
5	容器と品物を載せ台から取り除いてください。	 <p>• 表示が0.00となります。</p>	
6	 キーを押してください。	 <p>• 正味重量サインが点灯し、風袋重量をマイナス表示します。</p>	 キーを押す毎に正味重量と総重量が交互に表示されます。

## 上限値及び下限値の設定について

計量しようとする目標重量に対して大きい値を上限値、小さい値を下限値として適量範囲を設定する場合に使用します。







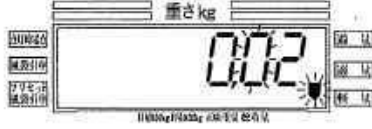










使用例、51.90kg～52.00kgを適量とする場合。

はかりの目量を0.02kgとして説明します。

表示内容	重さ kg	区 分
 <p>• 多すぎます少し取り除いてください。</p>	52.04 52.02	過 量
 <p>• 設定した範囲内です。</p>	52.00 51.98 51.96 51.94 51.92 51.90	上限値として設定  適 量  下限値として設定
 <p>• 足りません増やしてください。</p> <p>※判別できる最低重量</p>	51.88 51.86  0.10	不 足
 <p>• 0.00 kg</p>	0.08  0.00	


※判別できる最低重量は目量（最小表示量）の5倍です。


















## 下限値の設定



	操作手順	表示内容	備考
1	 キーを押してください。	 <p>• 軽量サイン及び数字の下の桁が点滅します。</p>	既に下限値が設定されていた場合はその値を表示します。
2	例えば、51.92kgとする場合は  キーを押してください。	 <p> キーを1回押す毎に設定桁の数値が1つつ上がり2が設定されます。</p>	
3	 キー1回押してください。	 <p>• 軽量サイン及び数字の下2桁位置が点滅します。</p> <p> キーを1回押す毎に設定桁が1つつ上がります。</p>	
4	 キーを押してください。	 <p> キーを1回押す毎に設定桁の数値が1つつ下がり9が設定されます。</p>	
5	 キー、  キー、  キーを用いて残りの51を設定してください。		
6	 キーを押してください。		下限値が記憶され、上限値設定モードになります。



## 上限値の設定







前記のように  キーを押すと下限値を記憶すると共に上限値設定モードになりますので引き続き2項の操作から上限値を設定してください。



	操作手順	表示内容	備考
1	計量モードからは   とキーを2回押すと上限値設定モードになります。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過量サイン及び数字の下の桁が点滅します。</li> </ul>	既に上限値が設定されていた場合はその値を表示します。
2	例えば、52.00kgとする場合は  キー2回押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・過量サイン及び数字の下3桁位置が点滅します。</li> <li> キーを1回押す毎に設定桁が1つつ上がります。</li> </ul>	
3	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーを1回押す毎に設定桁の数値が1つつ上がります。</li> </ul>	
4	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・適量サイン及び数字の下4桁位置が点滅します。</li> <li> キーを1回押す毎に設定桁が1つつ上がります。</li> </ul>	
5	 キーを押すか又は、  キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーを1回押す毎に設定桁の数値が1つつ上がります。</li> <li>・ キーを1回押す毎に設定桁の数値が1つつ下がります。</li> </ul>	

	操作手順	表示内容	備考
6	 キーを押してください。		上限値が記憶され、計量モードに戻ります。

設定された下限値及び上限値は、変更及び取り消しを行わない限り電源をオフにしても設定値を記憶しておりますので、以後の作業に適用されます。

### 上限値及び下限値の確認又は変更

	操作手順	表示内容	備考
1	 キーを押してください。 (上限値の場合は)   キーを2回押して4の操作から行ってください。	 前回は設定した下限値を表示しますので確認ができます。 確認のみの場合は  キーを2回押して計量モードに戻してください。	
2	例えば、下限値を51.92kgから51.90kgに変更する場合。  キーを押してください。		
3	 キーを押してください。	 前回は設定した上限値を表示しますので確認ができます。 確認のみの場合は  キーを1回押して計量モードに戻ってください。	下限値が記憶され、上限値設定モードになります。
4	例えば、上限値を52.00kgを52.02kgに変更する場合。  キーを押してください。		





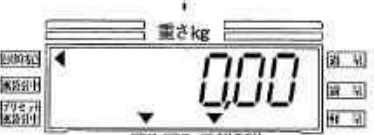
	操作手順	表示内容	備考
5	 キーを押してください。		上限値が記憶され、計量モードに戻ります。

### 上限値及び下限値の取り直し







	操作手順	表示内容	備考
1	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 軽量サイン及び数字の下の桁が点滅します。</li> </ul>	前回到設定された下限値が表示されます。
2	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 下限値が取り消されます。</li> </ul>	
3	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 過量サイン及び数字の下の桁が点滅します。</li> </ul>	前回到設定された上限値が表示されます。
4	 キーを押してください。	 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 上限値が取り消されます。</li> </ul>	
5	 キーを押してください。		計量モードに戻ります。

## 特殊な設定による判別基準

①下限値を0として上限値のみ設定した場合。

表示内容	重さ kg	区分
 <p>52.02</p>	52.02	過量
 <p>52.00</p>  <p>0.10</p> <p>判別出来る最低重量</p>	<p>52.00</p> <p>51.98</p> <p>0.10</p>	<p>上限値として設定</p> <p>適量</p>
 <p>0.08</p>  <p>0.00</p>	<p>0.08</p> <p>0.00</p>	<p>下限値として設定</p>

②上限値と下限値を同数に設定した場合

表示内容	重さ kg	区 分
	52.02	過 量
	52.00	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">上限値として設定</div> 適 量 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下限値として設定</div>
  <p>判別できる最低重量</p>	51.98  0.10	不 足
 	0.08  0.00	

誤設定した場合の判別基準（参考）

- ①上限値0とした場合は、下限値を設定しても上下限判別は行いません。
- ②上限値を下限値より小さく設定した場合はエラー表示を行います。  
(次ページのエラー表示についてを参照願います)

## エラー表示について

表示内容	このような時表示します	処置の方法
----H	はかり載せ台上に重い物を載せたままで  キーで電源をオンにした時に表示することがあります。	載せ台上の品物を取り除いて  キーを押してください。 重量表示が0となり使用可能となります。
	はかりを使用中に重い品物を載せたままで  キーを押した時に表示することがあります。	品物を取り除いて  キーを押してください。 重量表示が0になり使用可能となります。
----L	はかりの載せ台とケースとの間に異物をはさまった状態や載せ台を取り除いた状態で  キーで電源をオンにした時に表示することがあります。	載せ台を正しく取り付けて  キーを押してください。 重量表示が0になり使用可能となります。
--OF-	使用中はかりのひょう量を超える品物を載せた時に表示します。	品物を取り除きますと重量表示になります。 はかりの使用範囲内で使用してください。
--UF-	使用中はかりの載せ台を取り除いた時に表示します。	載せ台を正しく取り付けてください。 重量表示が0になります。
----E!	上限値、下限値を設定する際、上限値を下限値より小さく設定した場合。	上限値を下限値より大きく設定してください。
LOW	乾電池が残り少なくなった時に表示します。	乾電池を交換してください。 (単1、4個使用)
E-116	 キーを押した後、全ての表示が点滅した直後に表示されることがあります。	一度  キーを押して表示を消し、再度  キーを押してください。

お願い、はかりを正しく使用される限り、電池切れ以外のエラー表示にはなりません、もしエラー表示になった場合は上記処置をお願いいたします。

上記処置を行っても異状現象が直らない場合は、はかり内部の異状ですので購入店へ連絡願います。







**ACアダプタを接続すれば**

AC100V電源でも使用できます。

## **DP-6100GP仕様書**


- |  |  |  |
|--|--|--|
| 1. 計量方式  | : 電気抵抗線式   |  |
| 2. ひょう量及び目量  | ひょう量   | 目 量 (切替え式)   |
|  | : 30kg   | 0.005kg/0.01kg   |
|  | : 60kg   | 0.01 kg/0.02kg   |
|  | : 120kg/150kg  | 0.02 kg/0.05kg   |
| 3. 計 量 部<br>載せ台寸法                                    | : BW-306<br>: 500×350mm (DP-6100GP、DP-6100GPステンレス製)<br>: 354×354mm (DP-6100GP小型、DP-6100GP小型ステンレス製)                 |  |
| 4. 指 示 計<br>表 示 部<br>表 示 管<br>文 字 寸 法<br>指 示 計 ケ ー ス | : EDI-360<br>: 操作角度調整機能付<br>: 液晶表示管 (7セグメント 5桁)<br>: 38 (H) × 20 (W) mm<br>: 樹脂成型品<br>: 耐水性 J I S 2 級 (防滴 2 型) 準拠品 |  |
| 5. 表示内容  | : 重量値 : 5桁<br>: 上限設定値 : 5桁<br>: 下限設定値 : 5桁<br>: 風袋設定値 : 5桁   | — 各設定モード時  |
| 6. サイン表示   | : 点灯時零点<br>: 風袋引中<br>: プリセット風袋引中<br>: 目量指示<br>: 正味重量<br>: 総重量<br>: 過 量<br>: 適 量<br>: 軽 量<br>: 電池切れ                 | (◀)<br>(◀)<br>(◀)<br>(▼)<br>(▼)<br>(▼)<br>(◀)<br>(●)<br>(●)<br>(Low) |

7. キースイッチ類

-  : 電源オン、オフ用
-  : 零点リセット用  
(設定値クリア用)
-  : 設定モードにする時に使用
-  : 風袋引用  
(設定時の桁シフト用)
-  : 総重量と正味重量の表示切替え用  
(設定時の数値デクリメント用)
-  : 目量切替え用  
(設定時の数値インクリメント用)

8. 風袋引

風袋引範囲

- a)  キーによるワンタッチ式
  - b) 設定キーによる置数式
- : ひょう量まで

9. オプション

ACアダプタ

: 専用ACアダプタユニットが取り付け可能

10. 電源

: 乾電池使用  
単一、4個使用

11. 消費電力

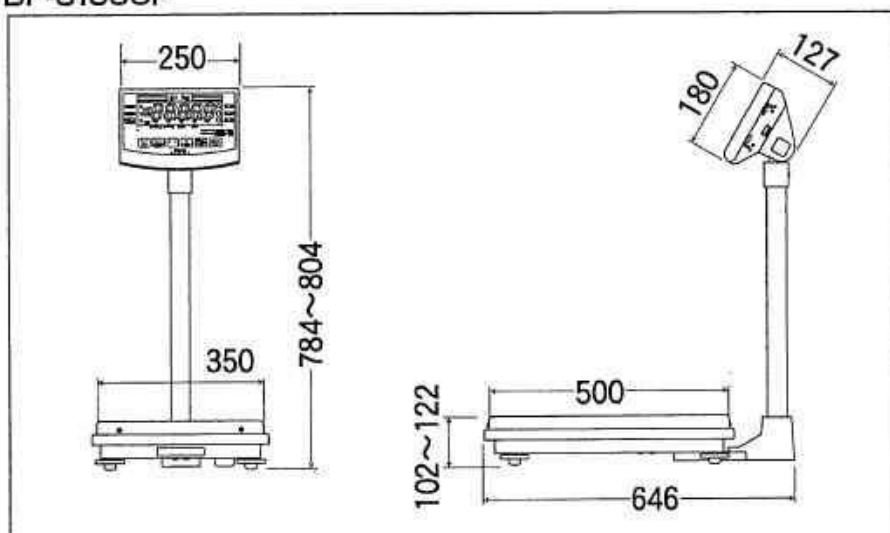
: 0.08W

12. 使用温度範囲

: -5℃~35℃

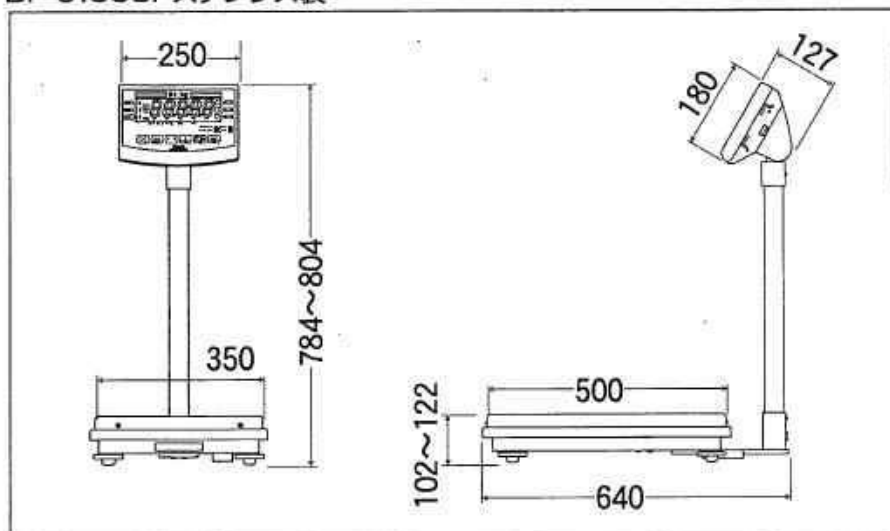
13. 外観及び寸法

DP-6100GP

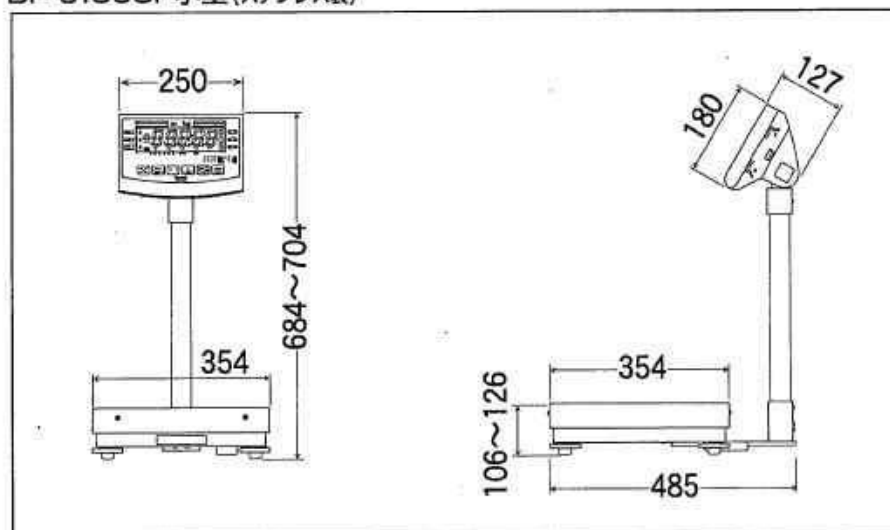




DP-6100GPステンレス製



DP-6100GP小型(ステンレス製)







信頼・技術・創造

# 大和製衡株式会社

本社営業	〒673-8688	兵庫県明石市茶園場町6番22号	TEL.078-818-6640
東日本支店	〒106-0013	東京都港区浜松町1丁目22番6号	住友生命浜松町ビル4階 TEL.03-5776-3123
中日本支店	〒460-0008	名古屋市中区栄5丁目27番14号	朝日生命名古屋栄ビル5階 TEL.062-238-5731
千葉営業所	〒264-0025	千葉市若葉区都賀4丁目8番18号	ショー・エム都賀1階 TEL.043-214-3920
九州営業所	〒812-0018	福岡市博多区住吉4丁目3番2号	博多エイトビル1階 TEL.092-471-1921